

愛知登文会ニュース

第13号

平成28年1月20日号

1 事業実施報告「愛知登文会特別公開事業」(2015年度)

昨年度に引き続き、2回目の登録有形文化財の建物特別公開を4日間、県内40カ所にて実施しました。多くの方々のご協力を得て実施することができ、建物解説には4日間で延べ1,429名という多くの方々にご参加いただきました(昨年は805名)。ご参加・協力いただいた皆様、ありがとうございました。

国登録有形文化財 特別公開

10/26(日) 三河地方

岡崎市…八丁味噌本社事務所、岡崎信用金庫資料館、旧本多忠次邸、旧愛知県第二尋常中学校講堂、旧石原家住宅/豊川市…トヨタテック本社社屋、旧今泉医院/新城市…大野宿鳳来館・旧料亭菊水

11/3(火・祝) 名古屋市

東区…名古屋カテドラル聖ペトロ聖/ヤウロ大聖堂、カトリック主税御教会司祭館・信者会館、日本福音ルーテル復活教会、建中寺徳興殿、名古屋陶磁器会館、日本陶磁器センター、東海学園大講堂、金城学院栄光館/中区…名古屋テレビ塔/中村区…算家住宅/緑区…中濱家住宅、棚橋家住宅

11/15(日) 尾張地方1

犬山市…尾関家住宅、寂光院/一宮市…木曾川資料館/愛西市…鈴木家住宅/清須市…柴田家住宅/半田市…小栗家住宅/知多市…木綿蔵ちた、知多岡田簡易郵便局

11/22(日) 尾張地方2

犬山市…旧磯部家住宅、旧堀部家住宅、小島家住宅茶室「残月の間」、大島家住宅茶室、高木家住宅、三井家住宅(米清旧宅)、川村家住宅、興禅寺、旧加茂郡銀行羽黒支店(小弓の庄)、吉野家住宅/一宮市…旧奏屋、墨会館

10月25日(日) ～三河地方～

初日は三河地域から。今年が初参加である旧今泉医院を含め全8カ所で実施しました。旧石原家住宅では、前半に自由観覧、後半に音楽会「音浴」というユニークな構成で実施しました。



▲建物解説の様子(八丁味噌本社事務所)



▲建物外観の解説(岡崎信用金庫資料館)



▲音楽会「音浴」の風景(旧石原家住宅)



▲建物外観の解説(トヨタテック本社社屋外観)



▲所有者の方から来館者へ詳しく解説いただく(旧今泉医院)



▲建物外観の解説(大野宿鳳来館)

11月3日（火・祝）～名古屋市～

名古屋市では全12カ所で実施し、気持ちの良い秋晴れ中多くの方に足を運んでいただきました。参加者の中には全12カ所のスタンプを集めた方もいました。



▲今年初参加の名古屋カテドラル聖ペトロ聖パウロ大聖堂



▲ミニコンサート風景(日本福音ルーテル復活教会)



▲2階大広間にて専門家による解説(建中寺徳興殿)



▲建物外観の解説(名古屋陶磁器会館)



▲今年初参加の日本陶磁器センター



▲中庭の解説(中濱家住宅)

11月15日（日）～尾張地方1～

尾張地方1日目は、北は犬山市から南は半田市に至るまで幅広く6市、8カ所で実施しました。今年が初参加となる木曾川資料館と鈴木家住宅を含め、全ての文化財で建物解説を実施しました。



▲主室内のギャラリーで作品を展示(尾関家住宅)



▲本堂の内部を見学(寂光院)



▲2階天井板を間近で眺める(木曾川資料館)



▲趣きある茶室で一席(小栗家住宅)



▲1階土間横の応接間での説明(柴田家住宅)



▲建物外観の解説(木綿蔵ちた)

11月22日(日)～尾張地方2～

最終日となる尾張地方2日目は、今年初参加の5施設を含む全12カ所で実施しました。全ての文化財で建物解説が実施され、墨会館では事前に準備を行ったことも達によるガイドも実施しました。



▲建物外観の解説(旧織部家住宅)



▲今年初参加の小島家住宅『残月の間』



▲茶室内部での解説(大島家住宅茶室)



▲今年初参加の高木家住宅



▲今年初参加の三井家住宅(米清旧宅)



▲今年初参加の興禅寺



ご協力いただいた方々から

(所)=所有者
(解)=解説者
(ボ)=ボランティアスタッフ

- ・昨年よりも見学者が増えており継続していけば登録文化財への理解も少しずつ深まるのではないかと思います。(所)
- ・見学者は建築関係者やもともと興味のある人が多い。一般の方にも来てもらえるよう工夫が必要。(所)
- ・所有者の方々にとっても、建物を見直す、建物に関する今までの歴史を振り返る、良い機会となったのではないかと思います。(解)
- ・遠くからの参加者があった、かなり専門的知識をお持ちでした。この辺、資料の作成に気を使いたい、片や一般参加者、もっと楽しいきれいな資料をと感じた。(解)
- ・参加者はほとんど年配の方。若者に積極的に参加してもらうため、大学や高校へのチラシ配付等広告範囲の工夫が必要。(解)
- ・参加者のみなさんから、解説を聞く事で「知ることで見目が変わる。」といった感想を持たれたことはよかったですと感じている。(ボ)
- ・近所だが今まで入ったことがなかったという感想を結構聞いた。知っていても入りづらい、機会もないということであり、一般公開はPRと企画次第だ。(ボ)
- ・一般の参加者がどのような気持ちで参加されたのか感想を聞きたい。ノートに感想を書けるようにしたり、アンケートを書いてもらえるようにしてはどうか。(ボ)

スタンプラリーも同時開催!



特別公開の4日間で回った登録有形文化財のスタンプ数に応じて、抽選で景品をプレゼントするスタンプラリーイベントも実施しました。スタンプ数トップの方にはデジタルカメラを贈呈しました!



▲スタンプ台

- ・応募総数 155 通
- ・スタンプ数 1位: 33 個 2位: 32 個



▲スタンプラリー参加風景



▲応募いただいた台紙

2 事業実施報告「こども文化財ガイド事業」(2015年度)

「こども文化財ガイド事業」は、地域の文化財建造物について学び、魅力を体験し、その成果をこども達自身の言葉で来訪者にガイドすることで、こども自身が地域文化への関心を高めることを目的に、平成24年度より実施しています。全3回の連続講座で、最終日は実際に子ども達が登録文化財をガイドするプログラムです。ガイドは建物特別公開に合わせて実施し、今年度の会場は一宮市の墨会館でした。

墨会館（一宮市）

墨会館は、繊維加工業の大手企業である艶金興業株式会社の本社事務所として、丹下健三氏の設計により昭和32年（1957）に建設されました。建物は打放しコンクリート、コンクリートの木目模様、木製の間仕切り壁等、丹下健三氏の初期作品の特徴を随所に見ることができます。

講座1日目は、まずはボランティアガイドの方から建物についての解説を行っていただき、その後建物を見学しました。講座2日目は、グループ分けを行った後各チームに分かれ、案内コースの検討やガイドの実践練習を行いました。講座3日目の本番当日、こども達は午前中の解説を担当しました（午後はボランティアガイドの方々が担当）。4グループに分かれてガイドを実施したこども達は、開始直後から次々に訪れる来場者に休む間もなく対応しましたが、終始積極的に取り組んでいる様子でした。「緊張した」「最初は難しかったけど、2回以上解説ができたので楽しかった」などの感想を聞くことができました。午前中：28名、終日：66名と多くの方にご来場いただき、ガイド参加者からは「一生懸命さを感じた」「良い取組だと思う」という感想を聞くことができました。



開催日時	テーマ	参加者
1日目:10/31(土)	墨会館のステキを発見しよう！建物を見学し学習する	小学生9名
2日目:11/7(土)	どんなふうにガイドするのかを考えよう！ガイド内容を検討する	小学生9名
3日目:11/22(日)	さあ本番、墨会館のステキを伝えよう！ガイド本番	小学生10名

◆講座1日目の様子◆



◆講座2日目の様子◆



◆講座3日目の様子（ガイド本番）◆



編集後記

本号では特別公開事業について報告させていただきました。12月には保存・活用講座や県外視察を実施していますが、この報告は次号とさせていただきます。

特別公開事業に関しては、昨年度の反省を踏まえ、案内リーフレットを充実させるなど広報に力を入れるとともに、ボランティアスタッフ募集を行い、多くの方のご協力を得て進めることができましたが、まだまだ改善すべき点も多いと感じています。ご意見等ございましたらぜひお寄せください。よろしくお願いいたします。

愛知登文会ニュース 第13号

発行日：平成28年1月20日

発行者：愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会
〒461-0025 名古屋市東区徳川一丁目10番3号

(一財)名古屋陶磁器会館内

TEL 052-935-7841 FAX 052-935-9592

E-mail info@aichi-tobunkai.org

URL <http://www.aichi-tobunkai.org>

FB <http://www.facebook.com/aichi.tobunkai>